

2 資産状況と暮らし方の希望

資産はさほどないが収入はある程度見込める人たち

新築一戸建て購入希望者の資産形成状況を見ると、「金融資産マイナス」という人は少なく、「金融資産0～2500万円未満」という人が6割近くを占めている。回答者全体でも「金融資産0～2500万円未満」が5割以上を占めているが、その中身が異なる。回答者全体では「金融資産0～2500万円未満」でも年収400万円未満の人のほうが多かったが、新築一戸建て購入希望者では年収400万円以上が大半を占めている。金融資産はさほど多くはないけれど、それなりの収入を確保できる見込みがあるので、新築一戸建ての購入も可能と考えている人が多いのではないかとみられる。

ちなみに、金融資産が2500万円以上の人の割合は、回答者全体では32%に対して、新築一戸建て購入希望者では30%だった。

仕事や投資などにも強い関心を持っている

この新築一戸建て希望者の具体的な暮らし方の希望をみると、先の新築マンション購入希望者がアクティブな都会派というイメージが強いのに対して、こちらは家族や自然重視のかたわら、仕事や投資にも強い関心を持っている層が中心になっている。

新築マンションでは、「映画や演劇など、都会の文化的な生活を楽しみたい」「買い物や食べ歩きなど、街歩きを楽しみたい」のポイントが回答者全体に比べてかなり高かったものの、新築一戸建て購入希望者ではほとんど全体値と変わらない水準。代わって、「子供や孫に囲まれて穏やかな老後を過ごしたい」「家庭菜園などで気軽に農業を楽しみたい」などのポイントの高さが目立つ。また、「株などの投資活動をして資産を増やしたい」「できるだけ今の仕事を続けたい」などのポイントも高い。

子供世帯との同居の意向も強い

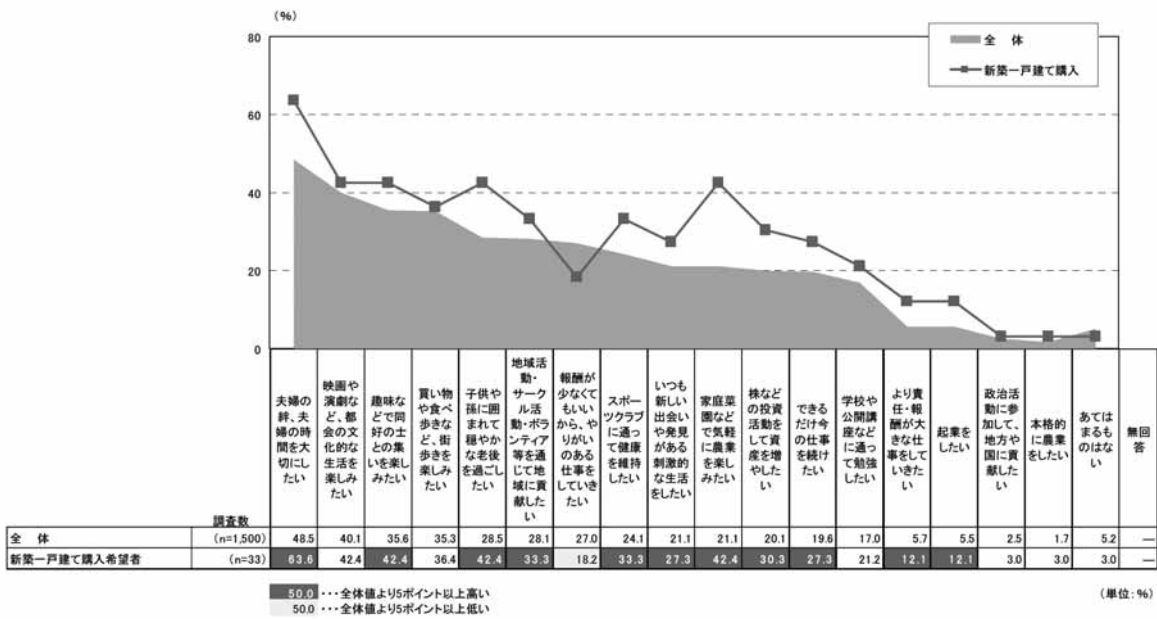
次に、希望の世帯構成をみると、「夫婦のみ」が55%とトップに上がっている。これは、回答者全体とほとんど変わらない水準。先の新築マンション購入希望者では64%に達していたのとは大きく異なる。

代わって増えるのが、「夫婦+既婚子供世帯」の21%だった。回答者全体では10%で、新築マンション購入希望者では9%だった。新築一戸建て購入希望者の半数強はやはり夫婦のみの生活を希望してとはいえ、5人に1人は子供世帯との二世帯同居住宅をイメージしているようである。

資産形成状況（合成／単一回答）

		金融資産マイナス	金融資産0～2500万円未満 収入400万円未満	金融資産0～2500万円未満 収入400万円以上	金融資産2500万円～5000万円未満	金融資産5000万円以上
凡例						
全体	(n=1,500)	16.7%	28.7	23.1	19.9	11.7
新築一戸建て購入希望者	(n=33)	12.1	15.2	42.4	15.2	15.2

具体的な暮らし方（複数回答）



希望の世帯構成（単一回答）

		あなたのみ（一人暮らし）	あなた＋親（＋ご兄弟姉妹）	あなた＋未婚子供	あなた＋未婚子供＋親	あなた＋既婚子供世帯	夫婦（あなた＋配偶者）のみ	夫婦（あなた＋配偶者）＋親	夫婦（あなた＋配偶者）＋未婚子供	夫婦（あなた＋配偶者）＋既婚子供世帯	夫婦（あなた＋配偶者）＋未婚子供＋親	夫婦（あなた＋配偶者）＋既婚子供世帯＋親	その他	無回答
全体	(n=1,500)	7.0	1.8	2.9	0.3	1.8	55.0	3.3	13.5	9.6	2.5	1.6	0.7	—
新築一戸建て購入希望者	(n=33)	—	—	—	3.0	6.1	54.5	3.0	9.1	21.2	3.0	—	—	—

50.0 ……全体値より5ポイント以上高い
 50.0 ……全体値より5ポイント以上低い

(単位: %)